

平成25年度子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業

体験活動スキルアップ研修会 インタープリテーション編②

平成26年2月22日(土)～23日(日)

1. 事業の目的(趣旨・ねらい)

自然体験活動を行っている施設職員関係者や教職員、団体を一堂に会し、自然体験活動の技術や知識を向上したり情報交換を行ったりし、青少年の自然体験活動のさらなる充実を図る。

今回の研修会は、盛口満氏を講師に招き、自然の大切さや美しさ、すばらしさを新たな視点で見つめ直したり、自然観察のポイントや伝え方を学んだりする。

2. 事業の概要

(1) 日程

平成26年2月22日(土)～23日(日)

(2) 募集人員・対象

40名 施設職員、体験活動指導者、青少年団体関係者、教職員、施設ボランティア等

(3) 参加者

38名 (岡山県26名 兵庫県4名 大阪府2名 香川2名 鳥取県2名
福岡県1名 広島県1名)

(4) 講師

沖縄大学 准教授 盛口満氏

(5) 企画・運営のポイント

多くの方に参加していただくために、1日目の受付を夕方に設定した。また、岡山県だけでなく県外の対象団体にも幅広く広報した。第1回岡山環境ミーティングのブースや操山公園里山センター等環境教育に関心のある方が集う場所に積極的に広報活動に出向した。

研修会では、1日目の講演会で生活に密着した動物や植物から自然の面白さをお話いただき自然への興味関心を深めた。2日目は、1日目に培った関心を維持させながらフィールドに出ることで自然観察のポイントや指導の際のアドバイスや留意事項を学べるように研修内容を企画した。



[講演会]



[講演会]



[講演会]

3. 活動の内容等

(1) 日程等

2/22 (土)		2/23 (日)	
時程	活動	時程	活動
16:00	受付	6:45	起床・洗顔
16:30	開会式・オリエンテーション	7:20	掃除
17:35	夕食	7:45	朝のつどい
18:30	講演会	8:00	朝食
20:30	入浴	9:00	片付け
22:00	就寝	9:30	講義・フィールドワーク
		12:00	昼食
		13:00	講義・自然観察
		15:30	閉会式

(2) 活動の状況

講演会では、講師の経歴から話が始まり、講師の愛称の「ゲッチョ」の由来や自然観察に深く関わるようになった経緯、講師が教員として取り組んできた経験談から「常識から始まりそれを覆すことを仕掛けることで生徒の興味関心や理解が深まること」など指導者として大切にしていきたいことを教えていただいた。その後、動物の骨を例にあげながら、生物には「歴史」と「暮らし」があり、それらを深く見つめることで、私たちの生活や文化も見えてくることを話された。

2日目の午前中は、種子の講義をいただいた。種子は、動物に食べられずに広い範囲に散布するために形状やにおいなどを工夫していることを教えていただいた。その後、フィールドに出て、吉備のフィールドに分布している植物について、講義の内容と関係づけながら知見を深めた。

午後からは、キノコの講義をいただいた。キノコの話から分解者に目を向け、午前中に採取してきた落ち葉から分解者を見つけ出し、観察をした。

最後に、実演を交えながら植物や昆虫のイラストの描き方を教えていただいた。



[種子の講義]



[フィールドワーク]



[分解者の観察]

4. 成果・課題

(1) 成果

- ・今回の参加者は、出身や所属、参加の動機が様々であったが、盛口先生に参加者の要望や研修意図を伝えさせていただき、身近な自然を切り口に講義や実習をしていただいたので、参加者に研修の趣旨したことを学んでもらえ満足を得られる結果になった。

(2) 参加者の声

○ 事業全体に対する満足度・・・100%

{参加者自由記述}

- ・人間や地球の本質を学びたいと思っていましたが、この会で学べ、しかも新しい視点で刺激的でした。
- ・今まで思いもつかないような考えにふれ視点が広がった。
- ・素晴らしい先生で来て良かったです。
- ・子どもに興味をもたせるという点で実物がもつ力を実感しました。

(3) 今後の課題等

- ・「インタープリテーション編①」と「インタープリテーション編②」の関連性をより深めると「インタープリテーション編①」の参加者に参加いただけたり参加者の期待にさらに応えられたりする研修会となる。次年度は、研修会の企画・構成をより検討を重ねたい。
- ・多くの方に参加していただくことや研修にゆとりを持たせることを考え日程を組んだが、参加者の中には研修に時間を割いて欲しいという意見があった。参加者にとって受け身的な研修になっていたと反省する。探求的な活動を取り入れる必要があった。



[講義]



[分解者の観察]



[標本スケッチの実演]

担当：企画指導専門職 飯石 浩二